

2026

共躍の鼓動

~Driven by Citizens,
Powered by Challenge~

謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

旧年中は格別なるご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

東京青年会議所は76年にわたり、社会をより良く変化させるため、年間100以上の運動を展開してまいりました。500人を超える会員が志を同じくし、産・官・学のカウンターパートの皆様と連携しながら、その歩みを継続しております。

謹んで新春のご祝詞を申し上げます
旧年中は格別なるご厚誼を賜り
厚く御礼申し上げます
本年も変わらぬご支援 ご愛顧の程
よろしくお願い申し上げます

新年の御挨拶

77年目を迎える本年度は、東京青年会議所の生み出す運動に関わるすべての人と共に躍動し、躍進しながら社会を変えていけるという願いを込め、「共躍（きょうやく）」という言葉を掲げます。

スローガンを「共躍の鼓動～Driven by Citizens, Powered by Challenge～」と定め、市民の皆様が社会への関心を深め、自ら選択肢を見出し、主体的な行動へと踏み出すきっかけとなる運動を創出してまいります。

また本年度は、当会議所が主催する運動において、東京都や各省庁、大企業、諸団体など多様なカウンターパートの皆様も共に主催者として取り組む協力体制である「共催」を主軸に運動を構築してまいります。運動に関わるすべて的人に気づきと行動のきっかけを届ける社会開発運動を先導してまいります。

本年度も皆様のお力添えを賜りながら、明るい豊かな社会の実現に向けて歩みを進めてまいります。何卒変わらぬご支援をお願い申し上げます。

外川 隆司
第七十七代理事長
公益社団法人東京青年会議所



東京青年会議所メンバーの皆様へ — 変革と価値共創による日本経済の再出発 —



東京商工会議所
会頭

小林 健

明けましておめでとうございます。
2026年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

【成長の果実を賃金や投資へ】

さて、昨年の世界情勢は、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化や中東情勢の緊迫化といった地政学リスクに加え、関税・輸出管理・産業補助・投資審査などが複合的に作用し、通商環境の再編が進行するなど、不確実性が一段と高まった一年でありました。

国内に目を向けますと、日本経済は賃金と物価の好循環に向けた兆しが明確になりつつありますが、依然として物価上昇に賃金が追いつかず、実質賃金の着実な回復が最大の課題です。長年にわたり染みついたデフレマインドを払拭し、成長の果実を賃金や投資へ確

実に循環させることこそ、日本経済の「再出発」に向けた最大の鍵であります。

こうした中、国政においては、憲政史上初の女性総理として高市総理が誕生し、就任直後からトランプ米大統領をはじめ各国首脳との会談を精力的に行い、首脳間の信頼醸成に努めてこられました。また、高市総理が議長を務める「日本成長戦略会議」におきましても、AI・半導体・造船・量子など17の戦略分野への投資に加え、人的資本の強化、労働市場改革、スタートアップ支援、賃上げ環境整備など、将来の成長力を高める政策課題が明確に示されました。国の成長戦略と歩調を合わせつつ、民間の現場から具体的な提言と実行を積み重ねていくことが、私どもの責務であります。

【成長型経済への転換を確固たるものに～「変革」と「価値共創」】

わが国の経済は、成長型経済への移行に向けた正念場を迎えています。しかし、企業数の99.7%、雇用の約7割（3大都市圏を除くと約9割）を占める中小企業は、円安・原油高に伴う原材料・エネルギー価格などの高騰、人手不足や労務費の増加、さらには消費低迷など多くの課題に直面しています。

成長型経済への転換を確固たるものとするためには、個々の企業が自己変革を果たし、変化する外部環境に適

応していくなど、絶えず「変革」に挑み続ける姿勢が重要です。同時に、不確実性の時代においては、多様な主体が互いの強みを持ち寄り、新たな価値を共に創り、共に分かち合う「価値共創」の発想こそが、これからの日本経済を支える基盤になると確信しています。

【「変革と価値共創による日本経済の再出発」に向けた三つの重点課題】

こうした考えから、私は本期のスローガンとして「変革と価値共創による日本経済の再出発」を掲げました。このスローガンの下、以下の3点を重点課題として当所の運営に取り組んでまいります。

1点目は「成長型経済の実現に向けた環境整備」です。成長型経済を実現するには、コストパッケージ型インフレから、需要拡大によるデマンドブル型インフレへと転換し、賃金と投資の好循環を持続させる必要があります。そのためにも、適切な価格転嫁と取引適正化の推進は、賃上げ原資を確保する観点から官民を挙げて一層強化すべき課題です。加えて、経済安全保障とエネルギー安全保障の両立、過度な円安の是正に向けた金融政策、人手不足への対応、持続可能な全世代型社会保障制度の構築につきましても、引き続き要望してまいります。

2点目は「変革と価値共創による中小企業・小規模事業者の『稼ぐ力』の強

化」です。成長型経済の実現には、中小企業・小規模事業者の付加価値と生産性の向上が不可欠であり、新分野進出、DX・GXの推進、知的財産の創造・保護・活用、海外展開、スタートアップとの連携などへの挑戦が求められます。また、事業承継を契機として、より強く魅力ある企業へと生まれ変わることが重要です。

3点目は「日本の成長牽引するゲートウェイ・東京のさらなる発展」です。東京が、国内外の経済循環における「ゲートウェイ」としての機能を果たし、地方との共存共栄を図るために、首都圏空港を核とした交通ネットワークの強化、インフラの老朽化対策、災害対応力の強化に加え、文化・芸術を含めた「国際文化都市」としての東京の魅力向上に取り組んでまいります。

【現場主義・双方向主義】の発展】

私は「原点は対話である」という信念の下、会頭就任以来、全国各地や23支部を訪問し、地域や事業者の生の声を伺い、各地域が抱える課題の把握に努めてまいりました。今後は「現場主義・双方向主義」をさらに発展させ、現場の声に真摯に向き合いながら、中小企業と地域の活性化、日本経済のさらなる成長に向けて、皆様と共に全力を尽くしてまいります。皆様の多大なるご支援、ご協力をお願い申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。



東京JCシニアクラブ
第五十八代世話人代表
昼間 太朗

明けましておめでとうございます。
2026年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

東京青年会議所は設立より77年間、時代の要請に応えながら、地域・日本、そして世界へと視野を広げ、青年としての責任と誇りをもって運動を積み重ねてまいりました。その歴史と信頼を受け継ぎ、最前線で挑戦を続ける現役会員の皆様にシニアクラブを代表して心より敬意を表します。

本年度、外川理事長の掲げた「共躍」というキーワードから生み出される運動の一つひとつは、運動に関わり合う人々の世代や立場を越えて、同じ志で躍動しながら地域を変えてゆく原動力となることでしょう。

そして、互いの挑戦を力に変え合い、個の挑戦が仲間の鼓動と重なったとき、運動は強力な推進力となり、社会を動かす確かな一歩となります。

東京の課題は、日本そして世界へとつながっています。だからこそ首都“東京”としての答えを探し、行動で示していく年にしていただきたいと願っております。

シニアクラブは頑張る現役が大好きです。現役の挑戦を我が事として受け止め、経験とネットワークをもって、決して前に出過ぎることなく、しかし必要な時にはしっかりと支え、共に歩む所存です。

皆様の挑戦が実り多きものとなり、会員各位の成長と会社・家庭の未来へとつながる一年となりますことを祈念し、挨拶とさせていただきます。



公益社団法人日本青年会議所
第七十五代会頭

加藤 大将

明けましておめでとうございます。

公益社団法人東京青年会議所の皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

また、平素より公益社団法人日本青年会議所の活動に対しまして格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

貴青年会議所におかれましては、外川隆司理事長のもと、「共躍の鼓動～Driven by Citizens, Powered by Challenge～」との力強い理念のもと、明るい豊かな社会の実現に向けて邁進されること存じます。

2026年度、日本青年会議所は「眞の心が生み出す 幸せな国 日本へ」の基

本理念のもと、家庭や地域といった身近な暮らしの場から、国民一人一人が未来に希望を抱き続けられる社会の創造を目指し、全国各地にて運動を展開してまいります。

その運動構築にあたりましては、「誰に、どのような価値を届けるのか」という視点を常に念頭に置き、青年会議所の枠を超えて、広く社会に必要とされる運動を創出すべく、真摯に取り組んでまいります。

私たち一人一人が、手と心を携えて社会に変化をもたらし、希望という名の力を注ぎながら、ともに幸せな未来を築いてまいりましょう。

結びに、貴青年会議所の更なるご発展と、地域における運動が大きな成果をもたらされること、そして皆様にとって2026年が実り多き一年となりますよう、心より祈念申し上げます。

TRUE MIND TRUE HOPE
～幸せな未来へ～

JCI
Tokyo

共躍の鼓動

~Driven by Citizens,
Powered by Challenge~